

令和6年度 研究授業  
保健体育科 学 習 指 導 案

令和6年9月11日(水)5校時

【授業者】 舛金 達生

【单元・題材】 球技（バレーボール）

【学年・組】 3年1組

【場所】 体育館

三原市立第五中学校

# 3年1組 保健体育科学習指導案

## 【指導者】 舩金 達生 【単元名】 球技（バレーボール）

### 単元観について

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編E 球技（バレーボール）[第3学年]の単元であり、以下の記述を受けて設定した。

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。  
イ ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。
- (2) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。

本単元では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。その際、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすることが大切である。

また、球技の学習に自主的に取り組み、作戦などについての話し合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにすることが大切である。

### 生徒観について

本学級の生徒は、素直で真面目な生徒が多く、言われたことを一生懸命やろうとする姿勢が見られる。その一方で人に見られたくない、怖いなどが理由で運動を苦手としている生徒もおり、練習や実践演習になかなか積極的になれない生徒もいる。また、言葉だけの指示では理解できない支援の必要な生徒もいる。どの生徒にもわかりやすく授業を進めるために、ルールや役割を明確にし、視覚的支援などのより具体性を持った説明をすることが必要である。

様々な場面でのグループ活動では、男女関係なく話し合いに参加する姿が見られる。しかし、話し合いの中で自分の意見や考えをはっきりと発言できない生徒もいる。

事前アンケートの結果から、約86%の生徒が「体育が好きですか」という質問に対して肯定的に回答しているが、約28%の生徒が「バレーボールに興味があるか」という質問に対して、否定的回答をしている。また、全生徒の約50%が「腕が痛くなりそう」、「突き指などのけがをしそう」などの悪いイメージを持っていることが分かった。

## 指導観について

バレーボールは性別や年齢を問わず、技能レベルに応じて、レクリエーションから激しいゲームまで楽しめるため、生涯にわたって楽しめる技術と態度を育てたい。また、どの場面でも一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする集団作りができるように授業をつくっていく。その中で、苦手なことや課題解決が困難なことに積極的に取り組む姿勢や仲間と協力して学習に取り組む姿勢を養わせたい。そのために「チームプレー」をテーマにグループで考えさせる場を設定していく。さらに振り返り活動を行うことで、自己やチームの課題から考えたことを他者にわかりやすく伝える力を身に付けさせるとともに、個々の課題や思いを明確にし、指導につなげていきたいと考える。

これらの活動を毎時間繰り返すことによって、知識として理解できた技術をゲームの中で実践できるようにしていきたい。また、日々の生活の中で苦手なことでも挑戦する姿勢や仲間と協力して課題解決に向けて取り組む姿勢が育つことを期待し、技ができる楽しさや喜びを味わわせたい。

また、生徒観からボールの硬さが生徒たちにとって主体的に取り組めない要因になっていることが考えられる。なので、ボールの種類を変えてその要因を取り除くような授業を展開していく。

## 単元の目標

○役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。

○攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

○球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保しようとする。

## 指導と評価の計画

### (1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解することができる。 【定期テスト】 ②ボールを相手側のコートの中を空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【観察・実技テスト】 ③ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。 【観察・学習カード】	①チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ることができる。【観察・学習カード】 ②体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができる。【観察・学習カード】	①球技の学習に自主的に取り組もうとすることができる。 【観察・学習カード】 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする事ができる。 【観察・学習カード】 ③健康・安全を確保することができる。【観察・学習カード】

(2) 単元指導計画 (全 10 時間)

次	学習内容	時間	評価規準	評価の観点			評価の方法
				知技	思判表	主学態	
1	○オリエンテーション ○安全上の留意 ○準備, 片付けについて ○ルールの確認	1	③健康・安全を確保することができる。			◎	学習カード
<p>【単元を貫く問い】 自己やチームがより高みを目指すには、何をする必要があるだろう。</p>							
2 3	○補強運動 ○パス ○サーブ ○アタック ○ブロック	2	②ボールを相手側のコート の空いた場所やねらった場所 に打ち返すことができる。	○			観察・学習カード
4	○補強運動 ○復習 ○ゲーム	1	③ポジションの役割に応じて, 拾ったりつないだり打ち返し たりすることができる。	○		○	観察・学習カード
⑤ 6 7	○補強運動 ○ゲーム ○課題発見・解決 ○リーグ戦	3	①チームで分担した役割に関 する成果や改善すべきポイン トについて, 自己の活動を振り 返ることができる。 ②体力や技能の程度, 性別等 の違いに配慮して, 仲間ととも に球技を楽しむための活動の 方法や修正の仕方を見付ける ことができる。 ②一人一人の違いに応じた課 題や挑戦及び修正などを大切 にしようとすることができる。		◎	○	観察・学習カード
8 9 10	○補強運動 ○選択授業 ○実技テスト	3	②ボールを相手側のコート の空いた場所やねらった場所 に打ち返すことができる。 ①球技の学習に自主的に取 り組もうとすることができる。	◎		○	観察・学習カード・ 実技テスト

## 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・自分たちに必要な練習メニューを作り実践することができる。

(2) 本時の学習展開 (5/10)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<b>1 既習事項の確認をする。(前時の振り返りをする。)【3分】</b>		
○準備をする。  ○挨拶, 出席確認をする。	○ホワイトボードに予定を書いておく。  ○全員で準備を行う。  ○集団行動を意識させる。	
<b>2 本時のめあてを確認し、課題を発見・共有する。【5分】</b>		
○めあてを確認する。 <b>課題の設定</b>	○学習カードにあるめあてを確認させる。	
<b>【めあて】【課題】</b> 自分たちに必要な練習メニューを作り、実践することができる。		
○取り組む内容を聞く。 ○前時の試合を見る ○チームのプレーで直せそうなことを話し合う。	●話し合い、考え方の視点を示す。 (ワークシート参照)	
<b>3 本時の課題解決に向けて考える。【37分】</b>		
◎練習メニューを作る。 <b>【ICT】</b> <b>整理・分析</b>	○巡視し困っているグループには声かけをする。 ○個人5分。グループ5分。 ※短くても7分、長くても10分は話し合いをして書き留めておく。	○観察・学習カード <b>【支援を要する生徒への手立て】</b> ○巡視し困っているグループには声かけをする。
<b>ICTの活用①</b> 前時に撮った試合を参考に練習メニューを決めていく。		
○ストレッチ, 補強運動をする。  ◎練習メニューを実践する。 <b>実行・表現</b>	○補強運動として, 腕立て・馬跳びをさせる。  ○コート使い方やボールの量など工夫できることは声をかける。  ○練習をしてみてどうだったか振り返りの	○観察
○ゲームをする。	○練習をしてみてどうだったか振り返りの	

<p>ICTの活用② 次時に向けての参考になるように録画する。</p> <p>○片付けをする。</p>	<p>参考になるよう声をかけておく。 ○様子を見て点数を決めていく。</p> <p>○協力できているかどうか確認をする。</p>	
<p>4 本時の学習を振り返る。【5分】</p>		
<p>○まとめ・振り返りを書く。</p> <p><b>まとめ・振り返り</b></p> <p>○発表する。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>○R80 で書かせ、発表させる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【振り返り】</b></p> <p>・レシーブができていなかったので色々な球種のボールを打ってレシーブ練習をした。でもレシーブはよく拾えていたが、サーブミスが多かったのでサーブ練習をしてミスをなくしていきたい。</p> </div> <p>○何人かに発表させる。</p> <p>○次時の予告をする。</p> <p>○集団行動を意識させる。</p>	<p>○学習カード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>A 基準：①理由を述べて練習メニューを作った。 ②その結果、こんな課題が見えてきた。</p> <p>B 基準：①と②のどちらかができた。</p> <p>C 基準：①と②のどちらも不十分だった。</p> </div>